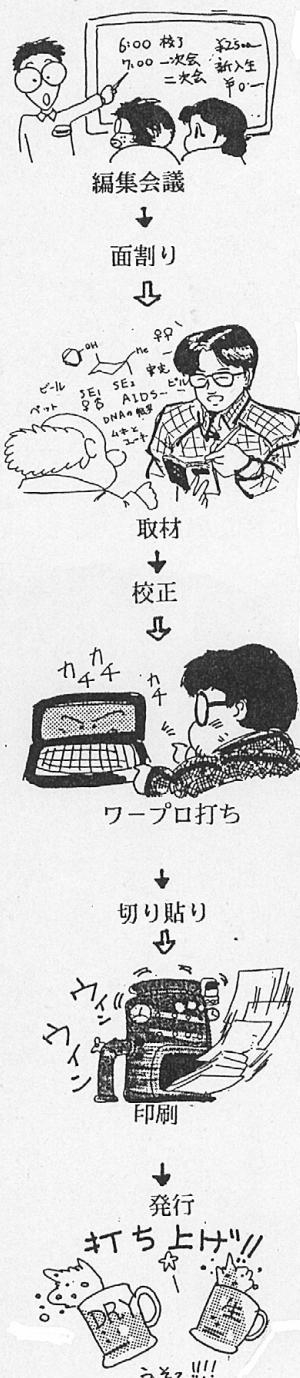


## 制作過程



# THIS IS 新聞会

ここに明かす新聞会の実態

新聞会は、東京薬科大学自治会が設置する機関の一つであり、自治会内の活動や学生が関心を持っているだらうと思われる事柄を選んで、新聞として掲載・発行するのが仕事である。そのため、新聞会が他の機関からの活動上の干渉を受けることがないよう、新聞会の機関から独立して存在している。

そして、新聞会の活動であるが、当然ながら新聞制作がその主たる活動となる。以下に、当新聞会の新聞製作行程を示す。

①編集会議  
新聞会は、東京薬科大学自治会が設置する機関の一つであり、自治会内の活動や学生が関心を持っているだらうと思われる事柄を選んで、新聞として掲載・発行するのが仕事である。そのため、新聞会が他の機関からの活動上の干渉を受けることがないよう、新聞会の機関から独立して存在している。

そして、新聞会の活動であるが、当然ながら新聞制作がその主たる活動となる。以下に、当新聞会の新聞製作行程を示す。

②割付け（面割り）  
新聞会は、東京薬科大学自治会が設置する機関の一つであり、自治会内の活動や学生が関心を持っているだらうと思われる事柄を選んで、新聞として掲載・発行するのが仕事である。そのため、新聞会が他の機関からの活動上の干渉を受けることがないよう、新聞会の機関から独立して存在している。

そして、新聞会の活動であるが、当然ながら新聞制作がその主たる活動となる。以下に、当新聞会の新聞製作行程を示す。

③取材  
正確な取材が正確な記事を生む。当たり前のようだが、正確な取材というのは意外に難しい。しかし、あやふやな取材では後々困るのは自分でいる。実りある取材をするために、少なくとも主な質問事項は前もって用意しておくのが妥当である。

④執筆  
取材を終えたら、新聞会室のコンピューターを使って原稿を打つ。ここで出される記定される。

⑤校正  
新聞会のおおもと。毎週水曜日に行なわれるこの会議にて、来月号の新聞のだいたいの紙面の構成に各記事の担当や発行日・原稿の締切日が決定される。

⑥製版  
校正済みの原稿を切り貼りして新聞の原稿をつくる。この時点で記事の行数の過不足や枠取りの失敗が見付かる場合があるが、最後にはなんとかまとまるものである。

⑦印刷  
文字通り、印刷機を使って印刷をする。作業そのものは一度複数の新聞会員によってチェックされる。当然だが、チェックされたところは書き直さなければならず、許可が降りるまで受けられる。自分で元壁だと思っていても

構成が必要となる。新聞が読みやすいかどうかはこの作業にかかる。表などを使う場合には、与えられているスペース内で再構成が必要となる。新聞が読むにかかる。

⑧発行  
印刷され完成した新聞は、新聞会員の手によって各クラブに配られる。配布は出席率の高い講義の時に行なうのが鉄則である。

以上、このような行程を経て新聞は完成し、読者である皆さんのところへ届くわけである。ここまで読んできて新聞づくりとはかなり大変なものだという印象を持つた人も多いことと思う。確かに、新聞そのものは地味で時間がかかるものが多い。しかし、それなりにやりがいのある仕事であり、また記事執筆などは自分の考え方の矛盾を的確に見つけられるいい機会でもある。それに数々の苦難を乗り越えて新聞ができるが、それがいつの感概もひとしおである。新聞会はこれからも皆さんの要望に応えられるように努力してよい新聞を作り思っている。

# 新聞会

# 東京薬科大学新聞

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者 遊佐めぐみ

# 新歓特別号

緑豊かな山に囲まれ、勉学に最適。そんな大学に見入る学生を果たした皆さんには多いが、読者からの要望を取り入れられる。教育棟地階にある「御見箱」がそれをもっとも取り入れられる。皆さん間で記事にして欲しいことを投函してもらえば、新聞会員内で議論の結果、特集として組まれることとなる。

これはまだ勉強だけをするための場所ではなく、社会へ出るための最後の訓練の場所である。これから四年間で机の上の学問だけで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

は、原稿が行き詰まることもある。そのため、取材や資料があやふやであるとこの段階で苦労するはめになる。また記者の調子いかんで

# 会長あいさつ

ただ一つ言えるのは、これが私の反省をもとに書かれていると言う事である。

長い様で短い学生生活、BESTを尽くして充実させてもらいたい。

（会長 遊佐めぐみ）

（注：朝日新聞「天声人語」のノリ）こういうのには、それなりの言い方というのもあるうに！えー皆様、桜の花が散る今日この頃…★サ…散つてどうすんだよこの老いぼれは…。それはそうと、今回のオレたちのビジネス、忘れちゃねえだろうな★陳「もちろんちやとも。えー皆様、ト新聞会よ

（注：朝日新聞「天声人語」のノリ）こういうのに

薬味

（注：朝日新聞「天声人語」のノリ）こういうのには、それなりの言い方というのもあるうに！えー皆様、桜の花が散る今日この頃…★サ…散つてどうすんだよこの老いぼれは…。それはそうと、今回のオレたちのビジネス、忘れちゃねえだろうな★陳「もちろんちやとも。えー皆様、ト新聞会よ

（注：朝日新聞「天声人語」のノリ）こういうのには、それなりの言い方というのもあるうに！えー皆様、桜の花が散る今日この頃…★サ…散つてどうすんだよこの老いぼれは…。それはそうと、今回のオレたちのビジネス、忘れちゃねえだろうな★陳「もちろんちやとも。えー皆様、ト新聞会よ

（注：朝日新聞「天声人語」のノリ）こういうのに

